

□八幡中学校校舎棟解体説明会での主なご意見・ご質問と回答（要旨）

NO	ご意見・ご質問	回 答
1	WIB 工法の地中の柱は残置するの か。	今回解体工事で振動を低減させる目的で行いま すが、その後の改築工事においても振動の抑制効 果があるとして残置します。柱列の撤去に関して はコスト面での課題もあり、基本的に残す方針と しています。
2	樹木の伐採はどこか。桜の木が3 本あるが対象になっているか。	今回の既存樹木の撤去範囲は、基本的に仮囲いの中 で、桜の木の撤去は行いません。今後の改築工 事で工事範囲も広がりますので、植栽撤去の範囲 も広がる予定です。
3	工事の仮囲いの高さは。建物を壊 す際、周囲への影響はないか。	仮囲いの高さは3 mです。建物は防音パネルで建 物の高さ以上に覆い、校庭側から解体しますの で、コンクリートの破片が飛ぶことはありません。
4	解体工事中も生徒が授業を行う場 合、授業に差し支えない程度の振 動か。どこで授業を受けるのか。	学校運営に支障がないよう、スケジュールや極端 な音・振動作業に配慮しながら工事を進めていき ます。解体校舎の隣の東側校舎で授業を行いま すが、解体する棟と残す棟の間は防音パネルで隔 て、残る校舎側にできるだけ音が届かない方法を とります。
5	搬出車両は何トンでどのようなル ートを走るのか。 大型車の通行が問題ない公道なの か。東急バスの通行で振動が頻繁 に起こり、これまで水道工事など でも振動がひどかった。	搬出車両は南側から侵入して西門に入るルート を想定しています。ダンプカーは10トン、道路 が狭いので通りにくければ8トンを想定してい ます。道路交通法では規制がなく、支障もないと 考えています。以前の工事で、車両の搬出入によ り振動が発生して苦勞されたことを伺っていま すので、工事関係車両の走行の際には極力スピー ドを落として走行するよう、解体工事会社に指導 します。
6	アスベストの作業前の表示は行う か。風速何mで作業中止するのか。 飛散のリスクはないか。	作業開始の14日前に表示します。作業は養生の うへ、集塵機能付きの工具で行いますので、中止 の想定はしていません。ビニール袋に二重に梱包 して積み込んで搬出するため、搬出時にアスベ ストが飛散することはありません。 また、国のマニュアルに沿った作業手順を遵守い たします。

7	アイドリングストップやタバコのポイ捨て禁止は徹底してほしい。	承知しました。
8	南西角と南側正門にも振動計をつけてほしい。	今回の工事では振動の発生源から敷地の境界において、ある一定の数値以上を出してはいけないという規定のものであり、西側と北側には設置します。ご希望の場所はグラウンドを挟み、かなり離れている場所ですので、今回の工事で起因するものに対してはかなり減衰している場所であります。